

BLEタグを活用した見守り事業

(登下校時見守りシステム導入事業)

実施報告書

令和7年11月

上牧町教育委員会事務局 教育総務課

目次

1. 事業実施の趣旨・目的	1
2. 見守りシステムについて	1
3. 目指す姿	2
4. 事業概要	3
5. 事業実績	4
6. 成果と課題	5
7. 今後の展開	5

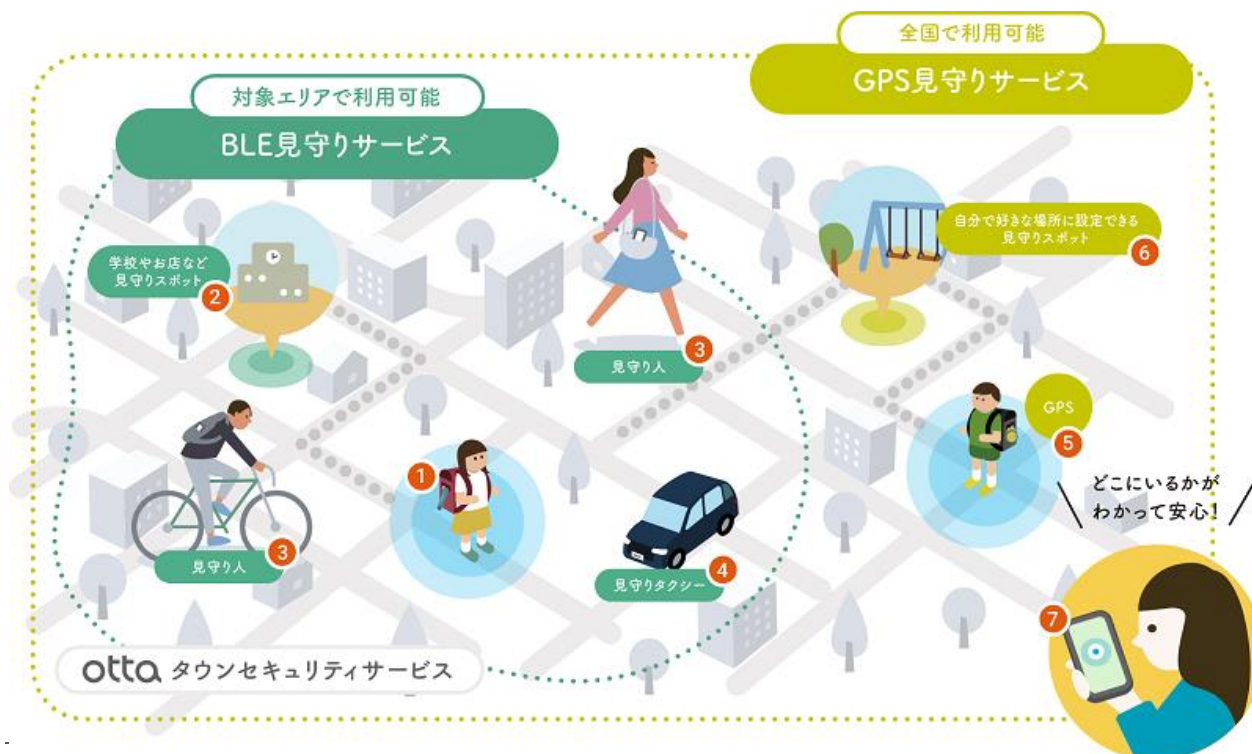
1. 事業実施の趣旨・目的

近年、登下校時において児童が巻き込まれる事案が多発するなか、児童の安全を確保するため、見守り体制のさらなる強化が求められています。現在、地域住民を中心とした見守りボランティア活動により、登下校時の児童の安全確保に取り組んでいますが、人口減少・高齢化の進展による人材不足やボランティア一人にかかる負担の増大が課題となっています。

そこで、現在抱えている地域課題の解消を図りつつ、見守り体制のさらなる強化を図るため、ICTをきっかけとした住民同士、あるいは行政や企業が助け合う「共助・共創」の概念による見守りシステムの構築・導入を目指し、令和6年度において、デジタル田園都市国家構想交付金事業「BLEタグを活用した見守り事業（登下校時見守りシステム導入事業）」を実施しました。

2. 見守りシステムについて

本事業において導入した見守りシステムは、BLEタグ（発信機）を身につけている児童が、小学校や通学路沿いの施設等に設置された見守りスポット（受信機）を通過したり、専用アプリをインストールした町民のかた（見守り人）とすれ違ったりすることで、その位置情報を記録するものです。



3. 目指す姿

見守りシステムの導入に当たっては、見守りスポットを通過した際に保護者のスマートフォンに通知が届く有料サービスのほか、無料で利用できるサービス（位置情報の記録）を用意することで、より多くの児童（保護者）に利用いただくことを目指しています。（児童の行方が分からなくなった場合など、万が一の際には、有料・無料にかかわらず、保護者同意のもとで児童の位置情報履歴を警察に開示し、捜索活動の一助として活用することができる）

また、広報等で町民や町内事業者等への呼びかけを定期的に行い、見守りスポットの設置協力店舗や個人宅（町民）、見守り人を増やしていくことで、見守り精度のさらなる向上、地域見守り力の強化を図り、「誰もが安心して子育てできるまち」の実現を目指しています。

（参考）サービス内容

項目	無料サービス	有料サービス		
	行政プラン	ライトプラン	スタンダードプラン	ミレニアムプラン
端末代	無償	無償	無償	無償
利用料	無償	330円（月額）	495円（月額）	990円（月額）
通知設定	設定不可（※）	最大3か所	最大20か所	最大99か所
端末補償	×	×	○	○

※ サービス提供開始時に申込をされたかたには、期間限定で有料サービスを無料で利用いただけるクーポンを発行しました。



4. 事業概要

<委託事業者>

株式会社 otta

<事業実施期間>

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

<総事業費>

3,300,000円

<財源>

デジタル田園都市国家構想交付金（補助率 1/2 1,650,000 円）

奈良県デジタルデバイド対策事業費補助金（補助率 1/3 550,000 円）（※）

（※）国庫補助事業等による特定財源が充当されている場合は、当該特定財源を除いた額に対し補助率を適用。

<BLE タグの配付>

町内小学校に在籍する児童のうち、見守りシステムの利用を希望する児童（331人）に対し BLE タグを配付しました。

<見守りスポットの設置>

BLE タグが発信する通信情報を受信する見守りスポット（受信機）を町内60か所に設置しました。

（校区別内訳）

上牧小学校区 20か所

上牧第二小学校区 21か所

上牧第三小学校区 19か所

<見守りアプリの導入>

見守りシステムの構築に当たっては、スマートフォンやタブレットにインストールすることで、BLE タグとのすれ違い検知が可能な専用アプリを導入しました。見守りアプリをインストールした人を「見守り人」として確保（住民等に協力依頼）することで見守り体制の強化を図りました。

<モデルとした事業（横展開）>

本事業の事業の実施に当たっては、見守りエリアを拡大し、より実効性を高めるため、郡内の王寺町（令和4年度から実施）、広陵町（令和5年度実証実験・令和6年度本格導入）事業（下図参照）をモデルに横展開（同一システムを導入）しています。

5. 事業実績

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）実施計画におけるK P Iの達成度は以下のとおりです。

< K P I ① >

町内小学生における BLE タグ配布率

（令和 6 年度目標値）

30%

（令和 6 年度実績）

34.6%

< K P I ② >

見守り人アプリのダウンロード累計数

（令和 6 年度目標値）

75回

（令和 6 年度実績）

38回

< K P I ③ >

防犯に関する住民満足度

（令和 6 年度目標値）

70%

（令和 6 年度実績）

66.7%

< K P I ④ >

行方不明件数

（令和 6 年度目標値）

15件

（令和 6 年度実績）

15件

6. 成果と課題

本事業の実施（見守りシステムの導入）により、BLEタグを身につけている児童が行方不明になる等の有事が発生した際に、警察と連携、位置情報を共有することで早期解決を図ることができるようになりました。また、見守りスポットの設置や「見守り人アプリ」のインストールを通じて、見守り活動に関わる住民が増え、地域見守り力の向上につながったと考えます。その他、王寺町・広陵町と同じ見守りシステムを導入したことによって、見守り範囲を拡大にも役立てることができました。

一方で、アンケート調査の結果、サービスに対する満足度が56.3%にとどまっています。これは、費用負担を避けるために無償サービスを利用されている保護者がサービスの効果を実感できていないことなどによるものと思われる。

利用者を増やすに当たっては、本事業に関する情報発信の強化を図ることも重要ですが、サービスに対する満足度の低さに大きな課題があると感じています。事業者と協議を行い、無償で利用できるサービスの拡充なども検討する必要があると考えます。

7. 今後の展開

令和7年度以降も引き続き事業を実施いたします。また、サービスの利用に当たり、保護者負担を最小限にとどめるため、令和6年度同様、端末料金については町で負担します。また、利用者を増やせるよう、本事業の周知の強化に取り組むとともに、無償サービスの拡充や見守り体制の強化を図るための新たな連携について、サービス提供事業者と協議を行います。

その他、「見守り人」アプリの登録者数が目標値の50%程度にとどまっていることから、役場内や自治会などに個別にはたらきかけるなどの取組を通じて、アプリのインストール数を増やすことで、見守り精度の向上、地域見守り力の強化につなげていきます。